

2024年6月11日 第3481回例会 会場：川越プリンスホテル5階
会員数102名 免除出席者2名 正会員出席者55名 出席者57名 早退0名 出席率56.4%

プログラム

点鐘(12:30) / ロータリーソング(我等の生業・R-O-T-A-R-Y) / 卓話講師紹介 / 会長の時間 / 幹事報告 / 委員長報告 / ニコニコボックス / 出席報告 / 卓話 / 点鐘(13:30)
(司会：島村SAA代行)

《卓話講師紹介》

古野 和則様 埼玉トバット川越西支店長
関口 亮太様 埼玉トバット川越西支店営業

会長の時間



2023-24年度 副会長 小高 章

6日に第4回のガバナー補佐委員長会議があり各クラブ会長宛メッセージの推奨事項を共有します。(坂口会長は次年度ガバナー補佐として事前に第1グループの各クラブを随時訪問中) 次年度に向けすでに五十幡ガバナーより色々な指針・方針が出ており、特に当地区は47クラブ(▲3)となるので、力を合わせて活性化していくこととなります。まず次年度テーマは「入ってよかったローター」、7月16日ガバナー公式訪問時にはクラブ協議会としてローターに入ってよかったことをそれぞれ発表することとなります。次に大きなテーマである「ポリテラー」を地区を挙げて開催します。東松山市の日本リーダーマーチ(11月2-4日)に地区の社会奉仕委員会、公共イメージ委員会、財団の3つの委員会が仕切り、クラブでも支援をしていきますが、その前に各クラブでこのポリテラーに関するイベントの実施依頼。これは地区大会(今年の11月)の前に実施し各クラブが取り組み発表をします。川越4クラブで今活動していますので委員会だけではなく皆様にも参加協力していただきたいと思います。もう一つ重要なところは、次年度からローターのラニングの位置づけです。この中で、まずマイローター

への登録を実施したうえで、ラニングセンターでクラブ会長編を受講し受講修了書を印刷提出することになります。これは会長だけのことではなく各クラブ委員会の委員長は受講して学習してくださいということです。ちょっと大きな枠の3点ですが次年度ガバナー推奨事項となります。また当クラブで直面するのは、坂口会長は次年度第1グループガバナー補佐に就任、翌年はガバナー。当クラブとしては絶大なる皆様の支援、特にガバナー輩出に当たっては、何かと協力も必要です。2570地区を代表するクラブですので、会員一同あがての協力をよろしくお祈りを申し上げます。

幹事報告



2023-24年度 幹事 栗原 雄一

- ・配布物：会報、ローター友、要約版
- ・川越美術館よりご案内
- ・新会員について(異議なし)

委員長報告

○広報委員会 津田委員長

ローターの友6月号の紹介、6月親睦活動月間/P.7「広げよう！ローター親睦活動の輪」創始者ポール・ハリス「ローターの原動力は親睦」/地区大会略報



○高口会員 退会のご挨拶

入会から22年。最近体調悪く歩くのもきつく意を決し退会します。思い出はゴルフ、色々勉強させていただきました。皆様のご健康を切にお祈りお祈り申し上げます。

○親睦委員会 小川委員長

6月5日(水)、家族親族屋形船。22名参加でお天気に恵まれ波も穏やかでデイズニードの裏側を見るような形で進行。昔日劇のダンサーであった上原会員のお母様が美空ひばりさんを4曲目も熱唱。コックさんのお弟子さんの義弟も松山千春さん

を熱唱。本当に大変大盛り上がりで楽しい思い出がありました。

○次週卓話講師 クラブ協議会（会長・幹事）

ニコニコボックス（高原会員）

●本日の卓話担当荻原之彦会員、卓話講師埼玉トヨタ川越西支店支店長古野和則様、営業関口亮太様、宜しくお願いします。＜会長、幹事＞●本日は坂口会長の代行を務めさせていただきます。宜しくお願い致します。＜小高＞

●本日卓話を担当させていただきます。埼玉トヨタ川越西支店古野支店長、関口さん宜しくお願いします。＜荻原＞●荻原会員、埼玉トヨタ川越西支店長古野和則様、関口亮太様本日の卓話よろしくお願ひ致します。「EV化と自動化」のお話、興味深く聞かせて頂きます。＜小橋、小杉、馬場（常）、和田（喜）、山田（哲）、西澤、小高、藤井、栗林、水村、住谷、福岡、近藤、野溝、相原、小川、柏倉、久保田、中野（文）、岩堀、石井、三田、高橋（哲）、齊藤（智）、和田（尚）、鈴木（壮）、戸口、丸山、高原＞●屋形船家族旅行で参加者の皆様には、母と義理の弟へご厚志を賜わり感謝申し上げます。実は母は現在ステージ4の乳癌で抗がん剤治療中であり、髪の毛が相当抜けており落ち込んでおりましたが、今回の機会をいただけて、生きるためのエネルギーチャージの場となりました。有難うございました。感謝の気持ちをニコニコでお伝えします。＜上原＞●深山幽谷、川のせらぎ、ガカの声、アユ釣りが始まりました。寿命が100日延びた気がします。＜藤井＞●先日は妻のお誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。＜荻原＞ 合計51,000円

卓話（荻原之彦会員）



○講師：埼玉トヨタ川越西支店支店長 古野 和則 様
営業 関口亮太 様

自動車業界の今後について～EV化と自動化～

埼玉県は全国でも保有台数第3位 421万台（愛知 535万、東京 443万）、川越市も県内第3位 12.7万台（さいたま市 42.4万、18.8万）というのは自動車産業、自動車使う人が多い町。

EV化について。「CASE（ケース）」は今後の自動車販売、産業の動向を示す重要なキーワード。

C:Connected コネクテッド

A:Autonomous/Automated 自律／自動化

S:Shared シェアリング、E:Electric 電動化

現在の5つの動力源におけるメリット・デメリット。

- ① ガソリン車・ディーゼル車（メリット:車両価格安い、整備性、車としての面白み、デメリット:燃料費（燃費）、排ガス）
- ② ハイブリット車（HEV）（メリット:燃料費（燃費）、静粛性、車としての実績、デメリット:車両代が高い（対ガソリン車）、補助金なし）
- ③ プラグインハイブリット車（PHEV）（メリット:燃料費（燃費）、EV車と違い走行後ガソリン走行切り替え、補助金あり、デメリット:車両代が高い（対HEV車）、車種ラインアップが少ない、バッテリー寿命、充電設備（インフラ））
- ④ 電気自動車（EV）（メリット:燃料費（ガソリンを使わない）、静粛性、エンジン音ない、加速性能、補助金受けられる（85万円）、二酸化炭素を排出しない、デメリット:車両代が高い、車種ラインアップが少ない、充電設備（インフラ）、車両重量が重い、航続可能距離が短い）
- ⑤ 水素自動車（FCV）（メリット:二酸化炭素を排出しない（輩出は水と酸素）、静粛性、補助金あり、デメリット:水素ステーションが少ない（埼玉県7か所）、車両代金高い、車種の選択肢少ない（トヨタでも2車種のみ））

今後2035年以降ガソリン車の販売を制限する予定。最低でもハイブリット車以上しか販売できなくなる。

自動化について。レベル0～5までを設定。レベル0は今まで通り支援システム一切ない車、本当に運転手 only。レベル1に関して、運転の自動化に関してではなく運転支援です（ドライバーが主）。例えば、車線内の走行を維持する支援してくれること。レベル2は部分運転自動化でハンドルから手を離すハズオフが一応は走行で可能、加速減速が実現できているというものになります。レベル3は条件付き。レベル4ですと、もう完全に無人、無人のタクシーです。レベル5に関しては、あらゆる状況下でも無人運転を実現できる。現在地は、レベル1は大半の車に搭載、レベル2はハンズオフ。レベル3はHONDAさんだけ、レベル4は考えなしに動くものはまだ販売されていません。結局は責任の所在の問題です。レベル5は道交法では走行できず法整備が必要。さらにはレベル6は管制センターの監視下に置かれ実現すれば本当に安全安心が、担保される移動手段ということになります。